

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2021. No.371 6
ハンガーゼロ・ニュース

コロナ禍での試練や不安は続きますが
祈り信じて互いに助け合っていきましょう

ウガンダの短期チャイルドサポーター募集

Contents

誰でも参加できる！SDGs P.2

2021年も世界食料デーを開催します P.3

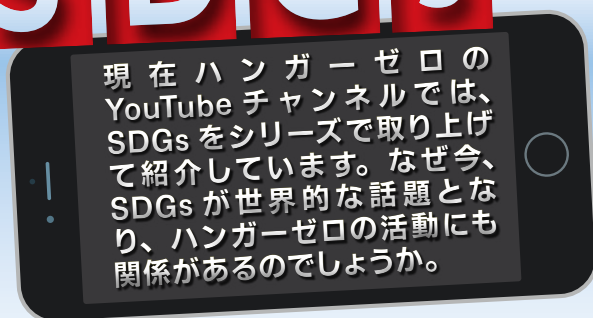
チャイルドサポーターウガンダ活動報告
サポーター短期募集、活動地のウイズコロナ P.4-6

アマチュア福音落語家が親善大使就任
WEBフィリピン現地活動報告会（6月） P.7

1分間に17人（内12人が子ども）
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

誰でも参加できる!

SDGs



ハンガーゼロのYouTubeチャンネルで「SDGs シリーズ」を公開中

スマホから右のQRコードではいれます
チャンネル登録もぜひお願いします



SDGs とは

2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき17の「**持続可能な開発目標** (Sustainable Development Goals)」のことです。世界全体がこのままではいけないという危機意識を抱いて立てた目標で「エス・ディー・ジーズ」と読みます。カラフルなSDGsのロゴを、ネットやテレビなどで見かけられたことがあるでしょう。

誰ひとり取り残さない!

SDGsは「誰ひとり取り残さない」ことを目指しています。そこには2つの意味があり、1つは「助けるべき人を誰ひとり取り残さない」という強い決意と、先進国と途上国また国際機関、政府、市民、子どもを含むすべての人が一丸となって目標達成のために行動することが求められていることを意味します。17の目標には、人の生死に関わる「貧困、飢餓、水」といった根本課題(No. 1~6)から、人間社会のしくみや豊かさに関係したNo.7~11、地球環境についてのNo.12~15、平和を目標としたNo.16、そして最後に全体を束ねるパートナーシップ(No.17)まで、誰もが自分のこととしてSDGsに取り組めるよう考えられています。

「No.2 飢餓をゼロに」は私たちのゴール!



「2030年までに世界の飢餓をゼロに」という目標は、そのまま私たちハンガーゼロが目指すゴールに他なりません。しかしコロナウィルスの世界的蔓延と戦争や内戦が、これに大きなブレーキをかけています。国連は2020年7月、今のままだと世界の飢餓人口が2030年にゼロになるどころか今より増えて、8億4000万人になる可能性がある、と警告しました。SDGsが「絵に描いた餅」にならないために、私たちに何ができるでしょう。

まず知ること、そして「アクション」を!

SDGsについては豊富な情報が、インターネットやYouTubeに溢れています。ぜひご自身で調べ、自分にできることを探して、小さくてもアクションを起こしてください。そして今からできることを早速始めましょう。

2030年まで、まだ10年どころかもう10年しかないのです!ハンガーゼロもあなたとご一緒に「世界を変える一歩」、を歩ませて頂きたいと願っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【SDGs 17の目標】

01 貧困をなくそう 02 飢餓をゼロに 03 すべての人に健康と福祉を 04 質の高い教育をみんなに 05 ジェンダー平等を実現しよう 06 安全な水とトイレを世界中に 07 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに 08 働きがいも経済成長も	09 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任、つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
--	--

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト

検索

2021年も世界食料デーを開催します！

世界の食料問題を考える日として 1981 年に国連が制定した日、それが 10月 16日「世界食料デー」です。世界の一人ひとりと協力し合い、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。

募金目標額を大きく上回る支援に感謝

コロナ禍で、すべて手探りで迎えた昨年の世界食料デーでしたが、多くの協力者の皆様の「世界の支援地への援助を止めてはいけない」という熱い思いによって支えられました。例年とは異なる柔軟な対応が求められる中、協力者の皆様の様々な工夫と取り組みにより、目標の1500万円を上回り、1900万円を超える募金が寄せられたことを、心より感謝申し上げます。

なお募金の使途は、現地からの報告が届く夏以降にあらためて紙面でご報告させていただきます。

2021年も様々な開催企画が進行中

今年もコロナ禍ではありますが、「私からはじめる、世界が変わる」を合言葉に、世界の飢餓や貧困に苦しむ方々を支えるために、ご一緒に取り組んでまいりましょう。すでに小規模・複数会場でのイベント開催や、オンライン開催、SNSでの動画配信など、様々な形で企画がされ、準備が始まっています。全国の世界食料デー大会については詳細が決まり次第、ご案内いたします。また、新たに



オンラインで開催された 2020WFD 横浜大会

有志でのイベントなどを企画してくださる方は、世界食料デー事務局までご連絡ください。

世界食料デー事務局（ハンガーゼロ東京事務所内）

担当：近藤・中村

電話 03-3518-0781 Eメール tokyo@jifh.org

インスタキャンペーン「#ゼロ菜園」

ハンガーゼロのインスタグラムにて、今年も世界食料デーに向けたキャンペーンを実施します。今年は経験ゼロ・スペースゼロ・資金ゼロでもできる、世界一ハードルの低い菜園日誌を更新しています。「ゼロ菜園」を通して、今食卓にのぼっている食べ物も、誰かの手によって作られたものであることを思い出していきたいと思います。



#ゼロ菜園 で検索をお願いします！

（期間：4月1日～10月16日 週3回更新）

【2021年世界食料デーの募金先】

2021年の世界食料デー募金は、ハンガーゼロの2021-2022年度の全支援予定国での活動に用いさせていただきます。目標募金額 2000万円を達成できるよう、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

ハンガーゼロ
HungerZero

ChildSupporter
チャイルドサポーター

● プロジェクト支援 11ヶ国

- ・フィリピン
- ・インドネシア
- ・バキスタン
- ・コンゴ民主
- ・ケニア
- ・エチオピア
- ・南スーダン
- ・モザンビーク
- ・シエラレオネ
- ・ガンビア
- ・ルワンダ

● チャイルドサポート 6ヶ国

- ・ボリビア
- ・フィリピン
- ・カンボジア
- ・バングラデシュ
- ・ルワンダ
- ・ウガンダ

● ボリビア

地域が貧困から脱出するために 生活環境の改善に取り組む

生 計 貯蓄グループ

ナムトゥンバのマガダとイジランゴビ地域において計21の貯蓄グループ、総勢630人が既存の17グループ 85人と共にトレーニングを受けました。

グループメンバーは、ライフスキル(※1)の訓練会に参加し、液体石鹼や固形石鹼の作り方を学びました。家庭での使用以外に販売もしています。またメンバーは13回に亘るトレーニングで金の使い方について学び、より多くの収入を得るために金を用いるようになりました。これらのグループは毎週 FH スタッフの指導を受けていましたが、今はスタッフの助けが必要でなくなっています。

農業グループによる家庭菜園

VSLA (村落貯蓄貸付組合)の8つのグループがさつまいもの茎、またカボチャ、オレンジ、玉ねぎ、ナス、キャベツ、コラードなどの種子を受け取りました。メンバーの92%が家庭菜園(写真⑤)を開始し、すでに野菜を収穫して一部を市場に売ることができています。この野菜栽培によって栄養失調を減らし世帯の収入と貯蓄額を増やすという良い成果を生み出しています。



教 育

ウガンダではコロナ感染拡大により 昨年3月から学校がしばらく閉鎖となりましたが、子どもたちは休校期間中は家で読書を続けていました。FH は子どもたちに読書用教材を男児 98人、女児 88人に配布しました。

また学校再開時に手洗いが実践できるように、4校に手洗い用の設備と液体石鹼を設置しました。一方マガダ、イジランゴビ両地域にある4校では、ジェンダーに基づく暴力に関する集会が20回、コロナに関するものが10回行われました。子どもたちはコロナの症状や感染予防について説明を受けました。暴力についての集会の目的は、子ども

たちに暴力の種類や暴力を受けた時にどこに届け出ればいいのかを知ってもらうためです。この集会は校區に住む住民の意識付けにもなっています。

職業訓練

23人の学生が職業訓練を受け7人が卒業しました。2名が車の整備工、1名が建築、2名が美容師(写真⑥)、



1名が服の仕立、1名が運転手の訓練を受けました。学生たちはビジネスを立ち上げるための支援により、ビジネスを通して生活の基本的な必要を満たすことができるようになります。そのことが他の学生たちへのよいモデルとなることが期待されます。職業訓練によって子どもたちはライフスキルや競争力を身につけ、収入を促進させる事業を立ち上げることができます。

チャイルドサポーターとの交流

コロナ禍でも、サポーターとの文通は継続されました。スタッフが子どもたちを訪問して、サポーターへの手紙を書いてもらうと同時に子どもたちの状況把握をしました。



また子どもたちにカウンセリングを行ない、励ましました。昨年は、サポーターさん宛のクリスマスカードの作業が、コロナの影響で大幅に遅れました。子どもたちはサポーターからの継続的な支援と手紙をととても感謝しています。



サポートチャイルド ベアトリス・ナムンビア

学んだ家庭菜園が収入にもつながって



ベアトリスは7人兄妹の3番目で、両親は農業をしています。農地が痩せていたため、自分たちが食べるだけの作物しか育てていませんでした。母親は子どもたちに野菜を食べさせることの大切さを知らず、お金がない時には主食だけで済ませる日もあり、子どもたちはあまり健康ではありませんでした。この地域の人々は、鶏や牛の糞、生ゴミを分解させて作る天然肥料や有機農法の価値についての知識がなく、また子どもたちに必要な物はすべて両親に依存していました。

ベアトリスは2015年にサポートチャイルドに登録されて学費、学用品、制服などの支援を受け、両親は貯蓄グループなど生計向上のための活動に参加するようになりました。FHは、各家庭が家庭菜園を作って野菜を育てて副菜にし、余剰分を売れるように、地域でアグロエコロジー（農業生態学）のプロジェクトを始めました。その中で天然肥料について学んだ両親は、コロナによる都市封鎖の間それを実践していました。それを見たベアトリスは、FHからもらった種を植え、自分の家庭菜園を始めました。ほんの軽い気持ちで始めたのですが、家で食べるだけでなく販売できるほどの収穫を得ることができて、生理用ナプキン、歯磨き粉、



保湿クリームなどの必要品を自分で買うことができるようになったのです。今後は鶏を飼って収入向上につなげればと願っています。

生活の知識が得られて嬉しかった（ベアトリス）

「小さな土地から多くの野菜を収穫できるなんて全く想像していませんでした。この知識を得られたことをとても嬉しく感謝しています。家では毎日おかずのある食事が摂れていて、自分でお金を稼ぐこともできています。おかげで今後生活に苦しまないですむと思います」



地域の卒業があと2年となる中で、将来を担う青年たちを応援するために特別に短期サポーターを募集します

現在、チャイルドサポーター事務局では、ウガンダの15～17歳のチャイルドをサポートして下さる「短期チャイルドサポーター」を募集しています。支援期間は、1～2年間です。

チャイルドサポーターに興味はあっても支援を続けていける自信がない、という方にも始めていただきやすい期間です。子どもと個人的なつながりを持つことを通して、支援を待っている子どもに愛と希望と喜びを届けてくださいませんか？

●チャイルドの住んでいる地域：

ナムトゥンバのイジランゴビとマガダ

●チャイルドの対象年齢：15～17歳

両地域において支援活動が開始されたのは2013年。

2023年9月にハンガーゼロの支援の手を離れて、貧困からの「卒業」を迎える予定です。チャイルドの支援も、2023年9月で終了を迎えます。お申し込みはホームページ又は事務局 Tel：072-920-2226 で受付ています。





ハンガーゼロ
活動地の
ウィズコロナ

誤ったコロナ理解を払拭して感染予防策

ナムトゥンバのマガダとイジランゴビ地域において、保健促進員が18のボランティアグループ 216名（女性 194名・男性 22名）に新型コロナウイルスに関する情報を伝えました。ボランティアたちは、ウィルス感染の兆候と症状、感染経路、感染予防について学んだ後、感染防止のガイドラインを含めた情報を2,376人の近隣サークルメンバーと共有し分かち合いました。

コロナ感染を防止すると共に、コロナ禍で増加している女性と女兒に対する暴力問題に対応するため20名の教師（男性13人、女性7名）と地区リーダー、ソーシャルワーカー、女性リーダーが人権について学びました。内容が保護者にも伝達されたことで、暴力の発生件数の軽減につながりました。各地域には暴力に対応する担当員が1名割り当てられたことで、問題が発生した時には、政府と協力して解決にあたることができるようになり、暴力の問題が70%減少しました。

新型コロナウイルスと女性への暴力に関する2つの情報は、3つのラジオ番組と4回に亘る地域の巡回（写真⑤左）を通して地域に流されました。これにより、地域の人々はコロナ感染のリスク、症状、他のウィルスとの違い、予防対策、自宅で発症した人の管理方法、隔離期間、症状が深刻化した時の対応などについて明確に理解できるようになりました。

コロナは存在しないという誤った理解は払拭され、人々はマスクを着用して定期的に手を洗うようになり、ソーシャルディスタンスを実行しています。

コロナ患者の隔離施設への支援として、個人用防護品としてエプロン（30）、シーツ（20）、使い捨てマスクも配備されました。



コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右 QR コードから
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記
募金集計：2021年4月現在で約1,013万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに

「ハンガーがゼロになったら嬉しいねえ…」

アマチュア福音落語家

ゴスペル亭パウロさん ハンガーゼロ親善大使に就任

アマチュア福音落語家のゴスペル亭パウロさん（本名・小笠原浩一）の「ハンガーゼロ親善大使任命式」が4月15日に大阪事務所で行われました。

音楽家以外では初の親善大使就任となるパウロさんは、アマチュア落語家として10年のキャリアがあり、聖書のお話を題材にした福音落語や古典落語のほか、災害時対応



ゴスペル亭パウロさんと田村スタッフ（啓発事業部巡回牧師）

の防災落語や振り込め詐欺防止の落語による啓発活動にも取り組んでおられます。防災落語ではご自身が資格をもつ防災士の観点から、災害時（地震・台風等）に私たちが取るべき行動や心がけ、将来発生が予測されている南海トラフ地震や首都直下型地震に対する備えなどの啓発をされています。落語なら日常の大切なテーマを笑いながら楽しく伝わるということで、行政や警察などが主催する啓発イベントにも出演しておられます。

パウロさんは、これまでもハンガーゼロの支援者として、いろいろな公演の機会を通して貧困と飢餓に苦しむ方々の現状や当機構の活動を多くの方々に紹介してくださっています。今後はさらに親善大使としてチャリティイベントや防災セミナー、世界食料デー関連の催しなどで、落語によって支援者の輪を広げてくださるものと大いに期待しています。

「災害に苦しむ方々に少しでも笑いをお届けしたい。また、皆さんにこの活動をお知らせして本当にハンガーがゼロになれば何より嬉しいですね」（パウロさん）

ゴスペル亭パウロさんについてのお問い合わせは、東京事務所に電話又はメール Tokyo@jifh.orgにて。



ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン WEBフィリピン現地活動報告会 どなたでも参加できます

① 2021年6月26日(土) / 27日(日) (両日共内容は同じ)

時間：夜7:30～9:00pm

参加：無料

オンラインツール：Zoom

申し込み：申込サイト又は電話から

内容：教育支援と開発支援

開発支援を住民主体で進めていく時に、人々の受け入れ能力を知ることは大切です。人々がどのような教育を受けていたか、どのような教育が今なされているかを知ること、どんなことが必要なのかを学びます。

② 7月24日(土) / 25日(日) (同)

内容：地域の市民団体(NGO,NPO)と国の開発支援

フィリピンは、地方分権化がすすんでいて地方主導の



国づくりをおこなっています。

その中で、ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン(HOLPFI)はどのように支援活動をおこなっているかを紹介します。

③ 8月28日(土) / 29日(日) (同)

内容：持続可能な開発と人財育成

持続可能な開発のカギは、人々の行動変容ですが、それが社会全体に影響を及ぼして行くには時間がかかります。人々の行動の変化を促していく為の支援活動をどのようにおこなっているかを紹介します。



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、
ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。



Health & Natural Beauty

ロングライフグループ



0120-550-294

受付時間
9:00～18:00
年中無休

大阪本社／〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社／〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
ロングライフグループ拠点：北海道／埼玉／東京／神奈川／千葉／静岡／愛知／大阪／兵庫／京都／大分／沖縄／中国（青島）／韓国／インドネシア（ジャカルタ）

ハンガーゼロ (日本国際飢餓対策機構) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO) です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合 (Food for the Hungry International Federation) の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

理事会を開催

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構の「定例理事会」を6月4日(金)に大阪で開催します。(オンライン出席者も含む) 1～4月の各事業部活動報告に加え、次年度 (今年7月～来年6月) の計画・予算案などが審議されます。



可愛い絵柄の手作りカード フィリピンから届きました

フィリピンの女性や若者たちの仕事づくりにつながるカードです。カード2枚でお米1.5kgに相当する収入になります。

①バースデーカード

絵柄：風船とギフト箱、ギフト箱

②グリーティングカード

絵柄：つばめ、青い鳥、少女と風船、ボトルシップ ※この中から2種類のおまかせ。

①②共に1,200円でポストにお届け。ご注文時に①②をご指定下さい。(全国同一価格)

なお数に限りがありますので、ご希望に添えない場合はご容赦ください。



【お支払い】後払い

お申し込み：㈱キングダムビジネス
スマートフォンは上記QRコードから
電話注文：06-6755-4877

FAX注文：06-6755-4888



エッセイ集第2段 「鍵となる言葉たち」

本紙3月号でもご紹介しました親善大使のManamiさんの1stエッセイ集「羽となる言葉たち」に続く第二弾がこのほど発売されました。長引くコロナ禍で新しいスタートを迎えるみなさんへの背中を押す言葉、歌詞のフレーズ、本の中の言葉などから、14個厳選して紹介しています。またオリジナルの詩も掲載されています。

サイズ：A5判小冊子

価格：700円 (税込/送料別)

Manami Online Shop (WEB検索)
<https://manami.base.shop/items/44449590>

各種手続きにお時間を いただいております

当機構各事務所ではコロナウイルスの感染対策として、一部テレワークを継続しています。支援者の皆様への電話対応・領収証の発行・支援申し込み手続きなどで、通常よりお時間をいただいております。ご理解のほどお願い申し上げます。なお急ぎのご用件は、お電話でご相談ください。

(事務局)

Hunger Zeroの SNS ソーシャル ネットワーキング サービス

詳しくはこちら▼

YouTube Facebook Twitter Instagram LINE

国際協力に参加する活動の第1歩目として... YouTubeのチャンネル登録や各種SNSのフォローをお願いします!

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ	
(TEL)		
住所	〒	
申込日	年 月 日	NL 371号
✓	下記から希望されるものをお申し込みください	
☐	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月 () 円 (1円1,000円) ②一時募金として 円協力します。	
☐	継続募金 (JIFH サポーター) として協力します。 毎月 () 円 (1円500円)	
☐	チャイルドサポーター (子ども1人毎月4,000円) の説明書 (申込書) を送ってください。	
☐	郵便自動引落し申込書を送って下さい。	
☐	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。	

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **5013** 人

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロで検索!

Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで見てください
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧がざして募金) になりました。ソフトバンクモバイル(株)経由の方は、Tポイントで募金できます。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,134,078ポイント(円)のご協力(11,741件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。